



明和保育所 (11月18日)

「かわいらしい演技に大歓声」 保育所おゆうぎかい



只見保育所 (11月19日)



朝日保育所 (11月20日)

先 町制施行50周年記念植樹 人の努力たたえ、輝かしい未来を目指して…



▲ 植樹された「百日花 (さるすべり)」

11月4日、只見地区センターでは、電源開発の源である只見川の岸辺に、地域の方々の協力を得て町制施行50周年記念地域再発見事業の植樹を行いました。植樹された夏の花「百日花 (さるすべり)」は、合併により只見町がスタートした日が8月1日の真夏だったことから選ばれました。本数は6本で、うち5本は50周年を記念し、残りの1本はこれからの新たな町の飛躍を祈念し植えられました。来年は桃色の可憐な花を咲かせてくれるでしょう。

住 福島県集落支援員研修ケーススタディ 民とともに地域づくりを模索

福島県主催の集落支援員等育成支援事業ケーススタディが、11月21～22日に蒲生地区で開かれました。集落支援員の実技研修として、直接集落に出向き、住民と一緒に地域づくりを考えることを目的に行われた研修には、県内各地区から24名が参加、蒲生地区からも14名の住民が参加され、二日間で「蒲生お宝マップ」の作成に取り組み、完成した3枚のお宝マップは蒲生集会所に寄贈されました。

集落支援員の方々は、今後も各地で研修され、地域の活性化に協力されるとのことです。



▲「蒲生お宝マップ」の作成に熱が入る参加者

山 要害山の歴史を学ぶ現地学習会 頂で水久保城の歴史にふれる

要害山の歴史を学ぶ現地学習会は11月15日に只見地区センター運営委員会主催で行われ、13名の参加者が、大槌山登山道から要害山山頂を目指し歩きました。山頂では「要害山・水久保城の歴史」について、福島県文化財保護指導委員の新国勇さんを講師に学習会が行われ、要害山には、戦国時代から歴史上重要な役割を担った「水久保城」があり、周辺にある石垣の曲輪（くるわ）などを確認しながら説明を受けました。参加者からは、「町内にこのような史跡があることに驚いた。今後、地域資源として有効に活用すべき」などと意見も出されました。



▲ 水久保城本丸跡で説明を受ける参加者

ホ 第1回只見町文化協会長杯グラウンドゴルフ大会 ホールインワンに歓喜の声



▲ 4回のホールインワンを決めた目黒ツネ子さん（中央）

記念の第1回只見町文化協会長杯グラウンドゴルフ大会が11月6日、町下運動広場で開かれ60名が参加、熱戦に継ぐ熱戦が繰り広げられ、第1回の大会で目黒ツネ子さん（只見）がなんと4回のホールインワンを打ち出しました。この記録は今後も簡単には破られないすばらしい記録です。目黒ツネさんは個人の部女子第3位となりました。団体の部の成績は、優勝が只見チーム、第2位が明和チーム、第3位が朝日チームでした。



▲ 只見の思い出に意気投合の出席者

只 2009年「ふるさと只見の集い」 見を懐かしみ思い出話し和やかに

東京都とその近郊に在住の只見町出身者約70名が出席され、11月22日に東京都千代田区のスクワール麹町で「ふるさと只見の集い」が開かれました。毎年、交流と親睦を目的に開かれる集いには、只見から目黒町長、鈴木征町議会副議長らが出席しました。目黒町長は、あいさつで「町づくりには皆さんの提案や提言も反映させたい。只見の自然のすばらしさをPRしてください」などと述べました。アトラクションやビンゴゲームも行われ、最後に「ふるさと」を合唱、またの再会を誓い合いました。

只 南会津郡青少年健全育成柔剣道大会 見剣道スポーツ少年団が低・高学年の部とも優勝

11月8日に田島中学校体育館などで開かれた、郡青少年健全育成柔剣道大会の剣道で小学3～4年生までの低学年の部と5～6年生までの高学年の部ともに只見小学校Aチームが見事優勝しました。学年別の同時優勝は初めての快挙、選手をはじめ監督、保護者、指導者は歓喜の笑顔であふれていました。低、高学年の部ともに8チームが参加、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の5人で戦いました。すばらしい成績おめでとうございます。



▲ 優勝カップなどを手に喜ぶ選手ら関係者